

早生の春播きトウモロコシ「P1543」の品種特性

「P1543」は、「セシリア」並みの多収性および耐病性を有し、熊本県における早生の春播きトウモロコシ品種として有望である。

農業研究センター畜産研究所飼料研究室（担当者：中村寿男）

研究のねらい

熊本県における春播きトウモロコシのうち早生品種について、特定品種への偏りを防ぎより多彩な新たな優良品種の早急な普及を図るため、数年以内に市販開始予定の新品種を中心に品種比較試験を行い、早生の春播きトウモロコシの代表的な優良品種である「セシリア」を標準品種として、これと同等以上の能力を有する品種を選定する。

研究の成果

1. 「P1543」の播種から収穫期までの日数は、「セシリア」と同時期で、本県において4月初旬に播種した場合、「セシリア」と同時期の7月下旬から8月初旬に収穫できる（表1）。
2. 「P1543」の稈長は「セシリア」と同程度であるが、稈長に対する着雌穂高の割合は「セシリア」より低い（表1）。
3. 「P1543」は、「セシリア」と同程度の耐倒伏性が期待できる（表2）。
4. 「P1543」のごま葉枯病の発生程度および紋枯病の罹病率は、「セシリア」と同程度である（表2）。
5. 「P1543」は、「セシリア」と同等以上の乾物収量が期待でき、本県における春播きの早生品種として有望である（図1）。

※「セシリア」：過去3年間の試験データに基づき、熊本県で奨励品種に指定されている品種

普及上の留意点

1. 耐病性は「セシリア」と同程度であるが、紋枯病が頻発するほ場においては、連作を避ける。

表1 生育特性に関する調査結果

品種名	相対 熟度	播種から収量	初期生育	稈長	着雌穂高	着雌穂高
		期までの日数	極不良1~極良9	cm	cm	／ 稈長
		日				%
P1543	115	115.3	8.8	257.5	117.0	45.6 B
セシリア	115	116.7	8.8	248.9	137.0	55.3 A
標準誤差		2.9	0.1	20.8	7.2	1.9

- 1) 播種期は、2009年4月3日、2010年4月5日および2011年4月7日。
- 2) 数値は調査年(2009年、2010年、2011年)の平均
- 3) 施肥量は、N:1.5kg/a、P2O5:1.5kg/a、K2O:1.5kg/a。
- 4) 標準品種は、「セシリア」。
- 5) アルファベット間は、品種間において5%水準の有意差が認められたことを示す。
- 6) 収量調査は、黄熟期を目安に実施した。

表2 病害抵抗性に関する調査結果

品種名	倒伏	折損	虫害	ごま葉 枯病	紋枯病 罹病率	
	%	%	%	無1~甚9	%	
P1543	0.0	0.1	1.7	3.8	68.9	
セシリア	0.4	0.7	1.1	4.4	61.3	
標準誤差		0.3	0.5	0.2	1.6	28.8

- 1) 数値は調査年(2009年、2010年、2011年)の平均
- 2) 試験ほ場は、連作により紋枯病が激発している。
- 3) いずれも「セシリア」との間に有意差は認められない。

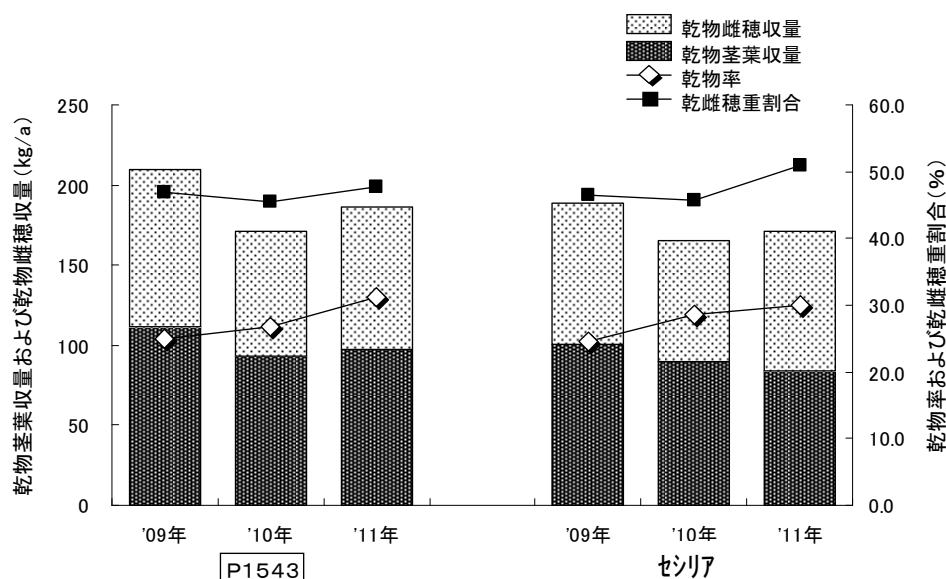


図1 品種ごとの3か年の乾物茎葉収量、乾物雌穂収量、乾物率および乾雌穂重割合

※'09年の乾物茎葉収量、乾物雌穂収量および'10年の乾物率において品種間に5%の有意差が認められる。